

令和7年度 学校評価（保護者アンケート）の集計結果

1 アンケート実施期間 令和8年2月5日～13日

2 回答数 192世帯

3 設問

I 子供たちの自信をはぐくむ教育の土台づくり

- ①安全・安心な環境 学校は、いじめの未然防止や早期発見に組織的に取り組み、子供が安心して過ごせる環境を整えていると感じる。
- ②相談体制 子供が困りごとや不安を抱えた際、担任や養護教諭、スクールカウンセラー、心の教育相談員等にいつでも相談できる体制があると感じる。
- ③施設の整備 トイレや空調設備、施設のバリアフリー化など、子供たちが安全・快適に学べる施設整備が進んでいる。
- ④多様性の尊重 特別な支援を必要とする子や外国にルーツをもつ子など、一人一人の違いを認め合い、個性を尊重して共に学ぶ姿勢が学校全体にある。

II 未来を切り拓く「人」の育成

- ⑤確かな学力の育成 学校は、ICT（タブレット端末等）を日常的に活用し、子供が主体的に考える「わかる授業」の実践に努めている。
- ⑥個別最適な学び 子供の習熟度や興味に応じた、きめ細かな指導や学習支援が行われている。
- ⑦佐倉学・郷土愛 地域の歴史や自然を学ぶ「佐倉学」や道徳教育を通じ、子供が佐倉市への愛着や誇りを感じている。
- ⑧豊かな心と体 読書活動の推進や、新体力テスト・食育の取組を通じて、子供の健やかな心と体の育成が図られている。

III 地域全体で子供を育てる体制と全ての人活躍できる環境づくり

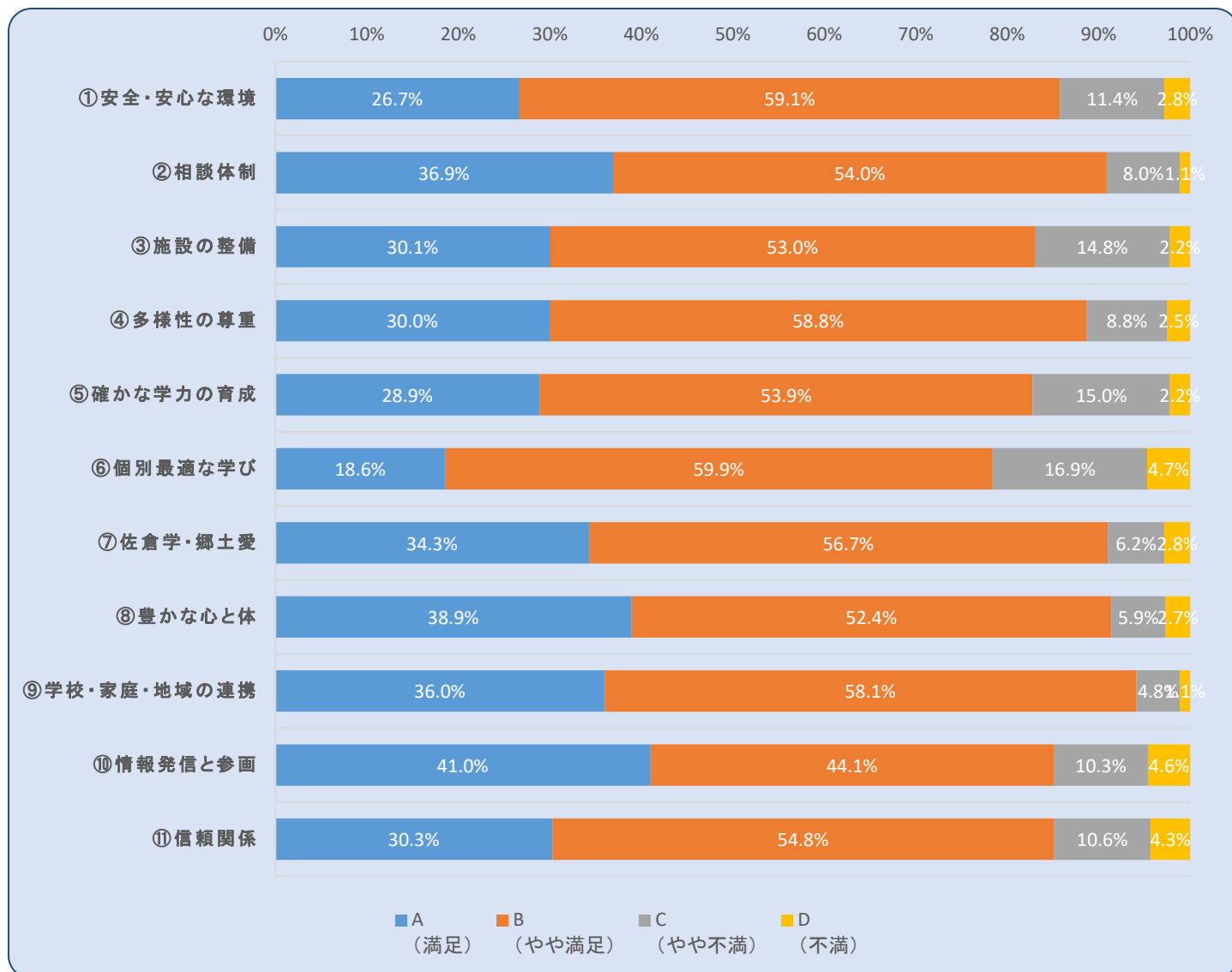
- ⑨学校・家庭・地域の連携 PTA活動やスクールガードボランティア等による見守り支援等を通じて、保護者や地域住民が一体となって子供を支える環境が整っている。
- ⑩情報発信と参画 学校だより、マチコミ（メール配信、タイムライン）、学校公開（授業参観、運動会、音楽発表会）などを通じて、学校の教育方針や子供の様子が分かりやすく伝えられている。
- ⑪信頼関係 学校の運営や教職員の指導内容について、全体として信頼しており、満足している。

IV 自由記述

3 集計結果

表1 設問ごとの回答率 ※ A（満足）からD（不満）を有効回答として集計しています。

	A (満足)	B (やや満足)	C (やや不満)	D (不満)	満足群 (A+B)
①安全・安心な環境	26.7%	59.1%	11.4%	2.8%	85.8%
②相談体制	36.9%	54.0%	8.0%	1.1%	90.9%
③施設の整備	30.1%	53.0%	14.8%	2.2%	83.1%
④多様性の尊重	30.0%	58.8%	8.8%	2.5%	88.8%
⑤確かな学力の育成	28.9%	53.9%	15.0%	2.2%	82.8%
⑥個別最適な学び	18.6%	59.9%	16.9%	4.7%	78.5%
⑦佐倉学・郷土愛	34.3%	56.7%	6.2%	2.8%	91.0%
⑧豊かな心と体	38.9%	52.4%	5.9%	2.7%	91.4%
⑨学校・家庭・地域の連携	36.0%	58.1%	4.8%	1.1%	94.1%
⑩情報発信と参画	41.0%	44.1%	10.3%	4.6%	85.1%
⑪信頼関係	30.3%	54.8%	10.6%	4.3%	85.1%



4 考察

- ・全体として保護者の学校への信頼は高く、満足群（A+B）は多くの項目で80～90%台を維持している。特に「学校・家庭・地域の連携」「豊かな心と体」「佐倉学・郷土愛」などは満足度が高い。
- ・ICT活用や個別最適な学びは一定の評価がある一方、「やや不満」「不満」が他項目よりやや高めだった。タブレット持ち帰りの負担や使用ルールへの不安など、自由記述でも複数の指摘が見られた。タブレットの活用ありきではなく、子供たちの豊かな学びに資する活用のあり方を引き続き検討してまいります。
- ・情報発信・参画（マチコミ、タイムライン等）に対する期待値が高く、「頻度が減った・見づらい」など改善を求める声が散見された。保護者が学校からの情報を日々求めている事実を受け止めたい。
- ・学校全体の運営やルールに関する意見が多く、特に「連絡体制」「行事運営」「早退・出欠の取り扱い」の明確化を求める声が見られた。丁寧かつ継続的な伝達をとおして、ルール・運用の説明が「保護者に届きにくい」という課題に対応していきたい。
- ・環境面では、体育館の空調、教室環境（机間距離・換気・暑さ寒さ対策）などの要望が多かった。特に体育館空調は複数学年から重複して挙がっていた。ここ数年の夏の猛暑を考慮して、引き続き子供たちの健康を守りながら、教育活動の充実を図っていきたい。
- ・安全面への配慮について肯定的なご意見が多かった。スクールガードボランティアの方など、地域の見守りにも深く感謝したい。
- ・授業参観や行事に関する声が昨年度より増加し、「保護者の参観マナー」や「公開方法の改善」など新しい課題が表面化している。特に「保護者の参観マナー」については、授業参観（公開）の本来の目的をご理解いただき、学校としても呼び掛けていきたい。
- ・長期休業前後の授業日数や給食の扱いに関する意見が複数あった。「給食なし短時間授業の日数が多い」とのご指摘も複数見られたが、年間の給食実施回数としては、近隣の学校と大きな差異はないこと、また限られた予算、物価高騰への対応など課題が多い中での給食実施であることをご理解いただきたい。
- ・「情報の見える化」「ICTの有効活用」等、明確化された課題に、次年度は真摯に取り組んでいきたい。

令和7年度 学校評価(教職員アンケート)集計結果

○評価項目

分類	設 問
① 安全・安心な環境	学校は、いじめの未然防止や早期発見に組織的に取り組み、子供が安心して過ごせる環境を整えられている。
② 相談体制	子供が困りごとや不安を抱えた際、担任や養護教諭、スクールカウンセラー、心の教育相談員等にいつでも相談できる体制がある。
③ 施設の整備	トイレや空調設備、施設のバリアフリー化など、子供たちが安全・快適に学べる施設整備が進んでいる。
④ 多様性の尊重	特別な支援を必要とする子や外国にルーツをもつ子など、一人一人の違いを認め合い、個性を尊重して共に学ぶ姿勢が学校全体にある。
⑤ 確かな学力の育成	学校は、ICT(タブレット端末等)を日常的に活用し、子供が主体的に考える「わかる授業」の実践に努めている。
⑥ 個別最適な学び	子供の習熟度や興味に応じた、きめ細かな指導や学習支援を行えている。
⑦ 佐倉学・郷土愛	地域の歴史や自然を学ぶ「佐倉学」や道德教育を通じ、子供が佐倉市への愛着や誇りを感じている。
⑧ 豊かな心と体	読書活動の推進や、新体力テスト・食育の取組を通じて、子供の健やかな心と体の育成が図られている。
⑨ 学校・家庭・地域の連携	PTA活動やスクールガードボランティア等による見守り支援等を通じて、保護者や地域住民が一体となって子供を支える環境が整っている。
⑩ 情報発信と参画	学校だより、マチコミ(メール配信、タイムライン)、学校公開(授業参観、運動会、音楽発表会)などを通じて、学校の教育方針や子供の様子が分かりやすく伝えられている。
⑪ 信頼関係	学校の運営や教職員の指導内容等教育活動全体について、保護者や地域から信頼を得られている。

○集計結果(%)

設 問	A 満足	B やや満足	C やや不満	D 不満	A+B 肯定的合計	C+D 否定的合計
① 安全・安心な環境	42.9	57.1	0	0	100	0
② 相談体制	85.7	14.3	0	0	100	0
③ 施設の整備	14.3	64.3	14.3	7.1	78.6	21.4
④ 多様性の尊重	14.3	71.4	14.3	0	85.7	14.3
⑤ 確かな学力の育成	7.7	92.3	0	0	100	0
⑥ 個別最適な学び	15.4	69.2	15.4	0	84.6	15.4
⑦ 佐倉学・郷土愛	7.7	76.9	15.4	0	84.6	15.4
⑧ 豊かな心と体	21.4	71.4	7.1	0	92.9	7.1
⑨ 学校・家庭・地域の連携	35.7	50	14.3	0	85.7	14.3
⑩ 情報発信と参画	21.4	71.4	7.1	0	92.9	7.1
⑪ 信頼関係	7.1	92.9	0	0	100	0